

田川委員（公明党）

平成 25 年 3 月 13 日  
教育長答弁実録  
(教育委員会)

(問) 生徒指導を体験する教員研修について

学校には学校経営計画があり、学校経営目標がある。経営目標は、厳しい目標で教師と生徒を縛っている。これを否定するものではないが、私は、生徒一人ひとりの能力に合わせた教育目標があってもよいのではないかと思う。

是正指導の後の広島県教育の課題は、教育内容の変革である。以前に比べ学力は上がったが、課題も多い。高校中退者は全国平均より上、暴力事件も全国平均より上、不登校も全国平均より上、教師の体罰は全国一。こうした課題を乗り越えるヒントが西条農業の実践にあると思う。1 ヶ月ぐらい生徒指導の体験をこの西条農業でやれば素晴らしい教員研修になると思う。このような教員研修もあってよいのではないかと思うが、教育長の所見を伺う。

(答)

本県では、各学校の生徒指導主事を対象とした研修会を、生徒指導上の課題が大きく、かつ、組織的な生徒指導を推進し、成果を挙げている学校を会場として実施しているところでございます。

研修会におきましては、例えば、生徒が日々の生活の中で感じた事や、一日の反省をもとにこれから行うことの決意などを書き込む個人ノートを活用して、生徒一人一人に応じた指導を行うといった会場校における効果的な実践事例を学んでいるところでございます。

今後とも、各学校において実践されている生徒一人一人を大切にした指導のノウハウを自校に持ち帰って活用できるような研修の充実に努めて参ります。